



【写真説明】

1 期生の活動の様子

- ①クラブ入会式
- ②渡過訓練
- ③放水訓練
- ④軽可搬ポンプ使用方法説明
- ⑤市消防出初式行進
- ⑥応急手当

海老名市消防操法大会
 ～エキシビションをお披露目～
 消防総務課 ☎(231)0355

地域の安全を守るため、日頃から訓練を重ねる市内14の消防団が参加し、訓練の成果を競います。団員の勇姿をぜひご覧ください。なお、第2期少年消防クラブ員の選抜メンバーによるエキシビション演技も行います。

- ▶日時 7月8日(日)
7時45分～12時
- ▶会場 市役所西側催事広場

インターネット放送局配信中
 「海老名市少年消防クラブ
 ～将来の地域防災を担う子どもたち～」

<http://www.ebinafield-itv.jp/>

海老名市インターネット放送局



活動を終えた、1期クラブ員の声

- ・実際に災害が起きた時には、クラブで学んだことを実践して、少しでも役に立てるようになりたい。
- ・起震車で震度7を経験できて勉強になった。クラブに入って良かったです。
- ・チロリアン（ロープ渡過訓練）が楽しかった。
- ・違う学校の人とも交流ができてよかった。



▲2期生訓練礼式の様子



▲2期生手帳配布の様子

未来の地域防災の担い手たち 少年消防クラブ、活動中

図予防課 ☎(231)0968

海老名市少年消防クラブ

「集まれ!」リーダーの掛け声のもと、4月14日、第2期海老名市少年消防クラブ初の活動が始まりました。この日はあいにくの天気でしたが、寒さを吹き飛ばすような熱気の中、早速訓練礼式を中心にクラブ活動の第一歩を踏み出しました。同クラブは、全国で88ある「モデル少年消防クラブ」の一つとして選定されており、今期は、屋内消火栓操法や放水訓練など年間16回の活動を予定しています。今後も活動のより一層のレベルアップを目指し、日々努力を重ねていきます。

少年・少女の頃から団体活動を通じて、防火・防災に関する正しい知識や技能を学び、防火・防災思想の普及を図ることを目的に、市制施行40周年に合わせて平成23年に発足し、今年度が2期目。小学4年～中学3年の男女38人で構成。1期目から継続して入会しているクラブ員は16人。活動服などの一部は、「宝くじ助成金」を活用して整備しています。

モデル少年消防クラブ

(財)日本消防協会内に設置された少年消防クラブ活性化推進会議が、全国から積極的な取り組みをしようとするクラブを募集し、「モデル少年消防クラブ」として選定するもの。選定されたクラブは、実技体験学習など実践的な内容の取り組みを行うこととしており、こうした取り組みに対して活動服や資機材などの支援が行われます。

